伊賀市企業版ふるさと納税

2024年度版

古くから忍びの里として独自の文化を築いてきた伊賀の里。
そこに息づく技術と精神は代々秘伝として、
変わらずに受け継がれてきました。
忍びのこころ息づく里、伊賀市を応援してください。

【俳聖殿】
芭蕉翁の生誕300年を記念して、1942年に建てられました。その形は芭蕉の旅姿を表現しています。殿内には等身大の伊賀焼の芭蕉座像が安置され、命日の10月12日の芭蕉祭で公開されます。2010年には国の重要文化財に指定されました。

伊　賀　市
企業版ふるさと納税

最大、寄附額の約9割が税制上で優遇措置

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みです。

損金算入による軽減効果 国税＋地方税	①法人住民税＋②法人税	③法人事業税	企業負担
約3割	最大4割	最大2割	約1割

通常の寄附 ⟷ 企業版ふるさと納税を活用した寄附

①法人住民税…寄附額の4割を税額控除。（法人住民税法人税割額の20%が上限）
②法人税…法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。（法人税額の5%が上限）
③法人事業税…寄附額の2割を税額控除。（法人事業税額の20%が上限）

※税額控除の手続（申告）や算出に関しては税理士や所管する税務署へご相談ください。

企業様の地域貢献への取り組みのPRに
伊賀市とのパートナーシップのきっかけに

企業版ふるさと納税のメリット

- 税制優遇を受けつつ地域貢献をPR
- 伊賀市とのパートナシップ構築の可能性
- 伊賀市公式ウェブサイトでご紹介

ご寄附の流れ

ご連絡ください
伊賀市地域創生課
TEL：0595-22-9623
※裏表紙をご参照ください。

ご寄附のお申込み
伊賀市の取り組みに賛同いただける企業様は、寄附申出書によりお申込みください。

寄附金の払込み
市からご寄附の依頼をいたします。寄附金の払込みをお願いします。

税の申告手続き
市が交付する受領証により、地方創生応援税制を適用することを申告してください。

【ご確認ください】
〇1回あたり10万円以上の寄附が制度の対象となります。
〇寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。
〇伊賀市内に本社（主たる事務所または事業所）がある場合は制度の対象となりません。

伊賀市
まち・ひと・しごと創生の

4つの基本目標

1 誰もが希望をもって働くことができるまちにする

■キーワード
○地域の魅力のブランド化
○イノベーションの創出
○地域資源を活かした地域産業の強化
○就業・起業支援
○人材の確保・育成

■主な基本事業
○観光誘客と情報発信
○農畜産物の生産振興
○商工業の活性化
○企業立地
○就労支援、職業相談
○創業支援

2 安心して子どもを産み、育てることができるまちにする

■キーワード
○結婚・妊娠・出産・子育てまでの
切れ目のない支援
○ワーク・ライフ・バランス

■主な基本事業
○子育て相談
○子育て支援
○少子化対策
○男女共同参画

3 心豊かに暮らし続けることができるまちにする

■キーワード
○市民主体によるまちづくり
○地域防災の確保
○魅力的な地方都市生活圏の形成
○医療・福祉サービス等の機能確保
○地域間連携による魅力的な地域圏の形成
○文化・スポーツ振興によるまちづくり

■主な基本事業
○住民自治
○コンパクトシティ・プラス・ネットワーク
○包括的な相談支援
○定住自立圏
○多文化交流
○文化・芸術振興
○スポーツ振興

4 魅力を高め、にぎわいと交流を生み出すことができるまちにする

■キーワード
○官民連携による賑わいの拠点づくり
○交流・関係人口の創出・拡大
○移住の促進
○産学官民連携
○地域人材の育成

■主な基本事業
○市街地整備
○中心市街地の商業の活性化
○魅力発信
○移住・交流
○地域人材育成

2024年度
主な寄附
募集事業

1 誰もが希望をもって働くことができるまちにする

キーワード：〇地域の魅力のブランド化　〇イノベーションの創出　〇地域資源を活かした地域産業の強化　〇就業・起業支援　〇人材の確保・育成
主な基本事業：〇観光誘客と情報発信　〇農畜産物の生産振興　〇商工業の活性化　〇企業立地　〇就労支援、職業相談　〇創業支援

101　起業促進プロジェクト

伊賀市内での創業を応援します！
四方を山に囲まれた伊賀市には、歴史を感じる城下町、自然あふれる場所など、他のエリアにはない魅力的な場所があることから、起業者が近年増加傾向にあります。
起業者への支援を行うことにより、伊賀市のにぎわい創出につなげ、魅力的なまちをつくります。

松尾芭蕉は1644年に伊賀市で生まれました。2024（令和6）年は、生誕380年の記念の年にあたります。生誕380年を機に、芭蕉さんの偉大さや尊さを再確認し、文芸に対する姿勢や生き方を学び、広く世間へ発信していきたいと考え「芭蕉翁生誕380年記念事業」を進めていきます。

2024年度
主な寄附
募集事業

2 安心して子どもを産み、育てることができるまちにする

キーワード:〇結婚・妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援　〇ワーク・ライフ・バランス
主な基本事業:〇子育て相談　〇子育て支援　〇少子化対策　〇男女共同参画

201　わくわくドキドキがとまらない保育所・幼稚園！プロジェクト

修繕が必要な遊具や発育に必要な要素が低い遊具を撤去し、低年齢児や特別な支援を必要とする児童向けの遊具やからだそだてに有効な遊具、生物や植物が身近に感じられるビオトープの設置や植栽の整備など、園庭を広々と効果的に利用できる環境を整え心身の発達を促していきます。

202　こどもの健康なからだを育むための給食プロジェクト

健康で健やかなからだを育むため全ての市立学校で給食を実施し、食の大切さの学びやバランスの取れた食事を推奨しています。伊賀産・県産を活用した「スマイル給食」や伊賀米を用い、食を通したふるさとの学びにも取り組んでいます。健康なからだを育む重要な時期に、食育や経済的軽減を図ることを目的とし給食費無償化を行っています。

203　使用済み紙おむつ持ち帰りゼロプロジェクト

これまで当たり前のように持ち帰っていた子どもの使用済み紙おむつ。市では、働く子育て世代の負担軽減を目的に、市内全ての保育所等で使用した紙おむつをまとめて処分します。

2024年度
主な寄附
募集事業

3 心豊かに暮らし続けることができるまちにする

キーワード:〇市民主体によるまちづくり　〇地域防災の確保　〇魅力的な地方都市生活圏の形成　〇医療・福祉サービス等の機能確保　〇地域間連携による魅力的な地域圏の形成　〇文化・スポーツ振興によるまちづくり
主な基本事業:〇住民自治　〇コンパクトシティ・プラス・ネットワーク　〇包括的な相談支援　〇定住自立圏　〇多文化交流　〇文化・芸術振興　〇スポーツ振興

301　都市公園げんきプロジェクト

都市公園は都市環境保全機能のほか、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層のレクリエーション活動、健康運動等の活動拠点となっています。
都市公園の安全・安心な環境を維持していくため「都市公園げんきプロジェクト」として公園内施設（遊具・トイレ・休憩施設・照明等）の予防保全・老朽化対策等に取り組みます。

302　地域におけるスポーツ振興プロジェクト

地域スポーツを取り巻く環境は、子どものスポーツ離れや、体力の低下・高齢化による健康寿命の延伸、余暇活動及びスポーツニーズの多様化など様々な課題がある中で、伊賀市では市民の週1回以上のスポーツ実施率向上をめざし、「する・みる・ささえる」の観点からスポーツを振興します。

303　水と歴史でつながる圏域プロジェクト

淀川水系木津川上流に位置する伊賀市は、南山城村・笠置町・山添村と定住自立圏を形成・連携し、「水と歴史でつながる圏域プロジェクト」を進めています。この一環として、圏域の子どもたちに向けた「空からの圏域見学体験事業」を実施し、故郷の魅力を学ぶ機会を提供し、地域の自尊心を育む取り組みを進めます。

304　伊賀市美術博物館建設プロジェクト

来章画　芭蕉像
伊賀市蔵

新しい芭蕉翁記念館と博物館、美術館を兼ね備えた施設「美術博物館」は、市が所蔵する伊賀の歴史文化や芭蕉翁をはじめとする俳諧資料、美術工芸品などを適切に保存管理するとともに、市民・次代を担う子ども達がホンモノに触れることで豊かな感性や心を育む「未来への投資」を行う施設となるよう検討を進めます。

2024年度
主な寄附
募集事業

4 魅力を高め、にぎわいと交流を生み出すことができるまちにする

キーワード:〇官民連携による賑わいの拠点づくり　〇交流･関係人口の創出･拡大　〇移住の促進　〇産学官民連携　〇地域人材の育成
主な基本事業:〇市街地整備　〇中心市街地の商業の活性化　〇魅力発信　〇移住･交流　〇地域人材育成

401　地域ブランド強化プロジェクト

IGAMONOとは、伊賀地域の優良な産品とその生産に携わる人々を伊賀ブランド「IGAMONO」として認定するもので、令和6年4月1日時点で、57事業者93産品が認定されています。ひそかに育んだIGAMONOの魅力を、日本全国及び世界に伝えることで知名度を上げ、地域産業を支える事業者の育成･意欲向上を図り、地域の活性化に繋げていきます。

402　若者定住のための奨学金等返還金支援プロジェクト

伊賀市の将来を担う若者の市外流出の抑制と、市外の若者の市内流入･Uターン等の促進を図るため、奨学金等の貸与を受けて修学した人が、市内に定住及び企業等にて就労し、奨学金等を返還する場合にその返還額の一部を支援します。

403　IGABITO（若者）育成支援プロジェクト

自らが地域の担い手となり、より良い“伊賀”を創る意識･実行力を持った若者（＝IGABITO）の育成に取り組んでいます。市内県立高校が行うIGABITO育成の取り組み支援、地域を良くするために自ら考え、実行するIGABITOで構成する「伊賀市若者会議」の活動支援を行います。

IGAMONO 伊賀

NINJA CITY IGA 忍者市伊賀

伊賀市の取り組みにご関心がございましたら、
ぜひ、ご連絡ください。

〒518-8501　三重県伊賀市四十九町3184番地
伊賀市 企画振興部 地域創生課
TEL：0595-22-9623　　FAX：0595-22-9672
E-mail：chisou@city.iga.lg.jp
URL：https://www.city.iga.lg.jp

募集しているプロジェクト（伊賀市ウェブサイト）▶